

授業科目名	合唱 I・III・V・VII A、B、D	担当形態	演習 クラス分け		
		開講学期	春学期		
担当教員	荻野 砂和子	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業のテーマ及び到達目標＝

大合唱によってアンサンブルする力を身に着ける
 同じ時間、空間で、声を合わせてハーモニーを作り、表現する。
 唄うことを通じ、協調することの大切さを養っていく

＝履修の条件と学習の方法＝

楽譜を各自で持参する事。人に見せてもらってはいけません。
 持参しない場合は授業を受けることができません。
 出席は授業開始時に取ります。遅刻は原則として認めません。
 次回の履修曲を授業終了時に予告しますので、読譜してくる事。

＝授業の概要＝

毎回の授業では、まず発声練習から入ります。
 その後、呼吸法のチェック、ハーモニー練習を毎回の授業時に行います。
 ここで、声を合わせて歌う準備をし、毎回の履修曲の練習に入っていきます
 混声合唱なので、パート練習の時間を取った後、全体のアンサンブルに入っていきます
 履修曲の習熟度を見ながら、新しい曲に進んでいきます。

＝授業計画＝

ガイダンス（授業の進め方、などについて説明する）

発声練習のあと、パート分けをし、ハーモニー練習

- 2、「一週間」パート練習～アンサンブル
- 3、「一週間」アンサンブル～歌い込み 「トロイカ」パート練習
- 4、「トロイカ」アンサンブル～歌い込み 「一週間」歌い込み、仕上げ
- 5、「トロイカ」アンサンブル～歌い込み 「ヴォルガの船曳き歌」パート練習
- 6、「ヴォルガの船曳き歌」歌詞付け、アンサンブル 「トロイカ」歌い込み
- 7、「ヴォルガの船曳き歌」歌い込み 「モスクワ郊外の夕べ」パート練習
- 8、「モスクワ郊外の夕べ」アンサンブル～歌い込み 「ヴォルガの船曳き歌」仕上げ
- 9、「仕事の歌」パート練習 「モスクワ郊外の夕べ」歌い込み
- 10、「仕事の歌」アンサンブル～歌い込み 「嫁さんが欲しい」パート練習
- 11、「嫁さんが欲しい」アンサンブル～歌い込み 「仕事の歌」歌い込み
- 12、「バイカル湖のほとり」パート練習 「嫁さんが欲しい」歌い込み
- 13、「バイカル湖のほとり」アンサンブル～歌い込み 「カチューシャ」アンサンブル
- 14、履修曲の復習、その中から課題を決め、グループでの発表のための練習
- 15、決められた課題をグループに分け全員の前で発表

注 習熟度により、予定は変更する可能性があります

＝テキスト（必携）＝

全音楽譜出版社

日本語で歌う混声合唱のための
「ロシア民謡集」

合唱団白樺 編

=参考書・参考資料（必携）=

無し

=成績評価の方法と評価の基準=

演習という授業形態なので、出席状況が大きな基準になります
授業内で行う1パート一人ずつのグループでの発表で習熟度をみます

=その他=